

市長提案説明要旨

平成28年12月1日

本日ここに平成28年第4回鹿嶋市議会定例会の開会に当たり、市政運営に関する所信の一端と、当面の事業概要並びに提出しました議案などの説明を申し上げます。

《はじめに》

師走を迎え今年も残すところ1か月となり、冷え込みも厳しさを増し、本格的な冬将軍の到来も間近となりました。この時期になりますと、インフルエンザの流行が危惧されます。先月25日、厚生労働省から昨年より1か月半ほど早く、全国的な流行期に入ったとの発表がありました。

市民の皆様一人ひとりが「かからない」、「うつさない」対策が重要となりますので、早めの予防接種と手洗いやうがいなどの予防策の徹底をお願いいたします。

この寒さとインフルエンザをも吹き飛ばす勢いで、鹿嶋を熱くしているのが鹿嶋アントラーズの活躍です。

先月23日に開幕したJリーグの年間王者を決める2016 Jリーグチャンピオンシップでは、準決勝で川崎フロンターレを1対0で下し、最大のライバルである浦和レッズとの頂上決戦に挑んでいます。

一昨日のカシマスタジアムでの決勝第1戦、厳しい寒さと平日夜の試合にもかかわらず、大勢のサポーターが駆けつけ、その熱い声援の後押しを受けたアントラーズは果敢な攻撃を見せましたが、不運なPKを取られ、0対1の惜敗を喫しました。

Jリーグ最多の17冠を獲得してきたアントラーズは、その道程で、幾多の死闘を乗り越え、時には大逆転劇を演じ、その遺伝子は、脈々と受け継がれていると確信しています。

記憶されている方も多いと思いますが、平成19年には、リーグ終盤に9連勝を飾り、圧倒的に優位であった首位の浦和レッズから優勝を奪取した戦いは、Jリーグ史に残る奇跡の大逆転劇と称されました。

明後日3日の埼玉スタジアムでの第2戦は、こうしたアントラーズスピリッツで、“捲土重来”必ずや年間王者の栄冠を勝ち取っていただき、市民の皆様とともに祝杯をあげられることを期待しています。皆様の応援をお願いいたします。

(国内情勢)

次に、国内の社会経済情勢であります。

内閣府の11月の月例経済報告によりますと、個人消費や企業の生産活動など国内の景気動向に大きな変化は見られないとして、景気の基調判断を「このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。」と、9か月連続で据え置きました。

先行きについては、雇用・所得環境は改善する中で、各種政策の効果により、緩やかな回復に向かうことが期待されるが、海外経済の不確実性などに留意する必要があるとのこと。

政府は、デフレから完全に脱却し、しっかりと成長していく道筋をつけるため、「未来への投資を実現する経済対策」及びそれを具現化する平成28年度第2次補正予算などを着実に実施し、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大に取り組むとしています。

(新年度予算編成)

市では、現在、国の予算編成方針や経済対策の動向などを注視しながら、新年度の予算編成を進めております。

市の財政状況は、市税の減少や少子高齢化に伴う扶助費の増加などにより経常収支比率が上昇傾向にあり、財政の硬直化が進みつつあります。平成29年度の財政見通しについても、歳入の根幹をなす税収は減少傾向にある一方、歳出は、国の社会保障制度改革や公共施設の更新などの費用増加が見込まれることから、厳しい状況が続くものと考えております。

こうした中、新年度予算においては、第三次鹿嶋市総合計画をはじめとする各種計画を着実に推進するため、効果的に予算配分を行うとともに、人口減少社会の到来を見据えて、将来にわたって活力ある鹿嶋市を展望した鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標達成に向け、地方創生の歩みを加速化させるとともに、平成31年に開催される「いきいき茨城ゆめ国体」に向けた施設整備などを推進してまいります。

(スポーツ先進のかしま)

市のスポーツ界は、今年も、さまざまな分野において、個人、団体とも全国的な活躍が目立つとともに、幅広い年齢層においてスポーツイベントへの参加など、スポーツを通じた健康づくり、交流づくりが行われています。

去る8月20日、21日に東京都で開催された第13回全国中学生弓道大会JOCジュニアオリンピックカップ大会において、清真学園中学校が女子団体で初優勝し、男子団体も3位という輝かしい成績を収め、高校男子団体の全国制覇に続く快挙を達成しております。今回の快挙を励みとされて、さらに技を磨かれ、飛躍されますよう期待しております。

新日鐵住金鹿島硬式野球部(ブルーウィングス)は、都市対抗野球大会に続き、10月29日から京セラドーム大阪で開催された第42回社会人野球日本選手権大会に4大会ぶり6回目の出場を果たしました。残念ながら、1回戦で惜敗を喫しましたが、選手の皆様のご健闘を称えますとともに、今後の活躍を期待しております。

先月19日に、「第95回全国高校サッカー選手権茨城県大会」の決勝戦がカシマスタジアムで行われ、鹿島学園高校と昨年の覇者である明秀日立高校との一戦は、1対1から延長戦でも決着がつかず、PK戦の末、鹿島学園高校が4年ぶり8度目の優勝を飾りました。

今月30日から埼玉県などで開催される全国大会では、伝統の全員攻撃、全員守備で鹿島旋風を巻き起こせられるよう、皆様の応援をお願いいたします。

先月10日に、ひたちなか市で開催された「第30回茨城県中学校駅伝競走大会」において、平井中学校女子チームが堂々の準優勝を果たし、今月4日に山梨県で開催される関東大会へ5年連続で出場します。

目標に向かって、日頃の練習の成果を存分に発揮されるよう期待しております。

(住みよいかしま)

地域医療・救急医療対策については、茨城県及び鹿行南部地域の各市と連携を図りながら、地域全体の医療体制の充実に向け、継続した取り組みを行っております。

課題である三次救急患者の受け入れについては、千葉県の「成田赤十字病院」、「旭中央病院」、「千葉北総病院」への要望を行ってきたところではありますが、さらに、今年4月に、県内の三次救急医療を担う土浦協同病院が土浦市内の新施設に移転したことを受け、本市からもこれまでより短時間で通院できることから、系列病院の「なめがた地域医療センター」とともに、これまで以上の市民の受け入れについて協力を要請し、病院側からは、前向きな回答をいただいております。

今後も、市民の皆様がいつでも安心して適切な医療を受けられるよう、関係機関と十分な連携を図りながら、医療体制の充実を図ってまいります。

近年、食習慣などのライフスタイルの変化に伴い、がん、心疾患、糖尿病などの生活習慣病が増加しており、中でも、がんによる死亡者数は、死因全体の約3割を占めています。

本市における過去10年間のがんによる死亡率は、女性は全体として減少傾向にありますが、男性の胃がんによる死亡は、一貫して増加傾向にあります。

市では、このような現状を踏まえ、これまでのバリウム検査に加えて、今年度、40歳から70歳まで5歳ごとの年齢を対象に、胃がん予防に有効とされる血液

検査によるピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮度を測定する「胃がんリスク検診」への助成を新たに開始し、これまで718人が受診されております。また、胃がんリスク検診の意義を理解していただくために、講演会を開催し、大勢の市民の皆様のご参加もいただきました。

今後も、がんに関する正しい知識の普及啓発や検診受診率の向上の取組みを進めるとともに、第二次健康かしま21（健康づくりはあなたが主役、みんないきいき元気かしま）の実現に、市民の皆様と一丸となって取り組んでまいります。

（活力あるかしま）

重点プロジェクトとして進めてまいりました歴史資料館は、その機能や役割を活かしながら、鹿島神宮周辺地区の賑わい創出につながるよう、市民や観光客などの交流機能を備えた施設整備を考えております。

これまで、鹿島神宮周辺において建設候補地3か所を比較検討し、関鉄バスターミナル跡地における整備基本計画の作成を進めてまいりました。

しかし、検討の熟度が高まる過程で、議会からも整備に関するいくつか提案もありましたが、財源の確保や空家などによる空洞化が進みつつある本地区での賑わい創出効果などの課題が見えてまいりました。

このような課題を踏まえ、権利者や関係者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、「社会資本整備総合交付金」を活用し、再開発手法を取り入れた面的整備計画を策定し、施設整備に取り組んでまいりたいと考えております。

今後、市街地活性化協議会や庁内検討委員会を設置し、鹿島神宮周辺地区の賑わい創出と歴史資料館の整備を目指し、整備計画を検討してまいります。

先月24日に、鹿嶋市立歴史博物館等建設を推進する会から、鹿嶋市立歴史博物館・歴史民俗資料館等の建設に関する要望書が、市内外の8,463名の皆様の署名とともに提出されました。「歴史のまち鹿嶋」に対する皆様の熱い思いを深く受け止めさせていただきます。

今年も市内各地域で、多様なイベントが開催され、市の魅力発信や人々の交流、地域の活性化につながっております。ご協力、ご支援をいただいた市民の皆様にご感謝申し上げますとともに、引き続き、皆様と力を合わせて取り組んでまいりたいと考えております。

本市の代表的な一大イベント「第26回鹿嶋まつり」と「みんなのひろば2016」を10月22日、23日の2日間にわたり開催しました。両日とも好天に恵まれたことに加え、鹿島アントラーズによるオープンスタジアムの同時開催もあり、スタジアム周辺は、約16万人の人出で終日にわたり賑わいを見せておりました。

会場には、120ものブースが設置され、各団体の事業ブースや地元商工業者

による物産展、模擬店などが立ち並び、人気のB級グルメ選手権の出店ブースには、地元産の美味しさを求めて長蛇の列ができていました。

ほかにも、「鹿嶋市菊花展」や「商店街活性化イベント」、「おおの商工感謝祭・大野ふれあいまつり」、「て～ら祭」、「公民館まつり」など、各地域で様々な工夫を凝らしたイベントも開催され、参加された皆様は、地域の魅力の新たな発見や体験を楽しまれたことと思います。

また、本市の玄関口となる鹿嶋神宮駅周辺では、約10万球のイルミネーションで幻想的な世界を創り出し、賑わいを創出する「KASHIMA 光のアート・ギャラリー2016」を明日2日から1月9日にかけて開催いたします。開催期間中には、クリスマスコンサートなども予定しておりますので、多くの皆様に鑑賞していただきたいと思っております。

今月18日に、鹿嶋灘漁業協同組合魚市場において、年末の風物詩として定着している「第10回鹿嶋灘はまぐり祭り」を開催いたします。

今年度は、人気が高いはまぐりバーベキューコーナーを増設し、より多くの方に地元の海の幸を堪能していただくとともに、全国一と名高い「鹿嶋灘はまぐり」の格安販売や漁船の体験乗船、イベントステージでは、一般参加によるのど自慢大会など盛りだくさんのイベントを企画しておりますので、来場者には存分に楽しんでいただけたらと思っております。

（人が輝くかしま）

本市では、「子育てするなら鹿嶋市で」をスローガンに、待機児童の解消や医療福祉の充実、子宝手当の支給など子育て支援の充実を図るとともに、英語教育やアクティブ・ラーニングの推進など先進的取り組みを行い、教育力の向上にも努めております。

子どもが病気になってしまったときに、仕事の都合などで、家庭で看病できない保護者にとって、病児保育事業は、大切な子育て支援の一つであると考えております。

市では、現在、民間事業所における「病児保育事業」の開設に向けて、関係機関との調整を進めており、来年3月上旬に施設整備を完了し、平成29年4月オープンを予定しております。

引き続き、子育て支援の環境づくりを充実してまいります。

幼児教育については、平成29年度から三笠幼稚園及び高松幼稚園で3歳児からの3年保育を実施いたします。これにより、公立幼稚園全園での3年保育が行

われ、私立を含めて、保護者の幼児教育における選択肢が増えることとなります。

今後も、公立と私立が互いの役割と特色を発揮しつつ連携を推進し、幼児教育の充実を図ってまいります。

今年度の小学6年生と中学3年生を対象にした「全国学力・学習状況調査結果」が公表されました。

本市においては、平成19年度の調査開始以来、初めて小・中学校ともに総合ポイントで全国平均及び茨城県平均を上回るという好成績を収めております。さらに、応用をとまなう汎用的能力が必要とされる中学校の国語B及び数学Bについても全国平均を上回っており、こうした素晴らしい結果は、学校や教職員の努力の積み重ねのもと、将来の鹿嶋を担う子どもたちの教育に力を注いできた成果と捉えております。

今後、調査結果から見えてきた課題の解決に向け、思考力、判断力、表現力などをしっかり育成するよう、さらに授業改善に取り組み、鹿嶋っ子の生きる力の育成に取り組んでまいります。

今月11日、鹿嶋勤労文化会館において、市民参加型の「第2回鹿嶋市第九交響曲コンサート」を開催します。

この事業は、昨年度、市制施行20周年記念事業として実施し、多くの市民の皆様にご足を運んでいただき、会場は大きな感動に包まれました。さまざまな世代や立場の違う市民が一つの舞台に立ち、一体となって歌い、コンサートを作り上げることにより、市民のふれあい・交流を促進するとともに、市の芸術文化の振興につながるものと考えております。

さらに、ベートーヴェン最後の交響曲・第九は、世界中で「自由と平和の象徴」として歌い続けられており、混沌とする世界情勢の中で、自由と平和の有難みを考えていただければと思います。

男女共同参画社会の推進については、第2次鹿嶋市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画の理解を深めるための啓発事業や女性の社会参画の支援などの取り組みを進めております。

去る10月15日に市保健センターで開催しました「鹿嶋市女子フェスタ2016」では、女性が自分らしい生き方を考え、人生設計できる力を身につける女性支援の機会として、各種セミナーをはじめとしたイベントを実施しました。市内外から600人を超える多くの皆様にご参加いただき、あちらこちらで交流の輪が広がり大盛況となりました。

来年1月14日に、「男女共同参画推進フォーラム2016」を鹿嶋勤労文化

会館で開催いたします。

平成22年にスペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗し、物資搬送責任者などの任務に当たった宇宙飛行士の山崎直子氏を講師にお迎えし、「宇宙 人夢をつなぐ」（未来は無限大！自分の未来は自分で創る！）と題して、講演をしていただきます。

子どもの頃からの夢を追い続ける一方、結婚、出産を経験し、家庭やキャリアの両立に悩み学んだことやチャレンジすることの大切さなどの講演を通じて、男女共同参画について考える機会にさせていただければと思っております。

また、同時に「鹿嶋市女子フェスタ2016第2弾」を開催いたします。

今回は、脳科学の視点から、女性ならではの感性や考え方などのポイントを知ることができるセミナーを開催いたします。また、市内で活躍する女性起業家を中心に、手作り雑貨や飲食などの販売やワークショップ（ものづくり体験）の出店など、家族やパートナーと参加しても楽しめるイベントも企画していますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

（頼もしいかしま）

現在、市内には17の自警団が組織され、約1,900人の市民の皆様が、安全・安心パトロールなど、さまざまな防犯活動を地域ぐるみで取り組んでいただいております。

近年、市内での刑法犯認知件数が減少していることは、こうした地域の皆様による献身的な取り組みの成果と捉えており、改めて感謝を申し上げます。

今月10日には、鹿嶋市自警団連絡協議会主催の「第11回安全・安心まちづくり鹿嶋市民大会」が市役所駐車場を会場に行われます。

市民の防犯意識を高め、犯罪や事故のない、安全で安心して生活できる地域社会の実現に向けて、参加者によるパレードなどを行います。

市においては、警察や自警団などの関係機関、地域との一層の連携強化を図り、防犯意識の啓発や地域ぐるみの防犯活動の支援、防犯灯の計画的な整備などを進め、市民、行政が一体となった安全で安心なまちづくりを推進してまいります。

（自立したかしま）

本日から、コンビニエンスストアでの証明書交付サービスを開始いたしました。

このサービスは、全国の最寄りのコンビニエンスストアで、店舗内の多機能端末機を利用して、住民票の写しや印鑑登録証明書、課税・所得証明書を取得できるサービスです。利用できる時間帯は、午前6時30分から午後11時までです。市役所窓口が閉庁となる休日や夜間、出張先などにおいても証明書を取得できることから、市民の皆様の利便性の向上につながるものと考えております。

サービスの利用に当たっては、マイナンバーカードが必要となりますので、市

民の皆様には、交付申請の手続きをしていただきたいと思います。

なお、コンビニ交付サービスの開始に伴いまして、ショッピングセンターチェリオ内で開設しています「市民ふれあいサービスコーナー」は、今月24日をもって終了させていただきます。

《提出議案等》

次に、提出しました議案についてご説明申し上げます。

提出議案は、補正予算関係議案が4件、条例関係議案が6件、人事関係議案が1件、道路認定議案が1件、指定管理者の指定関係議案が1件、契約関係議案が3件、合わせて16件であります。

まず、予算関係議案は、平成28年度一般会計と特別会計の補正予算であります。

一般会計補正予算については、自立支援給付事業、老人医療給付経費、生活保護運営対策事業費、道路維持補修費、小・中学校大規模改造事業、屋内温水プール整備事業などを計上しております。

国民健康保険特別会計補正予算については、保険給付費や共同事業拠出金などを計上しております。

後期高齢者医療特別会計補正予算については、後期高齢者医療広域連合納付金と諸支出金を計上しております。

公共下水道特別会計補正予算については、総務費などを計上しております。

条例関係議案は、鹿嶋市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例などです。

人事関係議案は、教育委員会委員の任命に当たり、議会の同意を求めるものです。

道路認定議案は、市道1路線を認定するものです。

指定管理者の指定関係議案は、大野潮騒はまなす公園についてです。

契約関係議案は、鹿島神宮駅周辺（西側）地区及び平井東部地区における液状化対策工事に係る変更請負契約についてです。

私の説明は以上で終わりますが、予算以外の議案については、担当部長から補足説明をさせていただきます。

お手元の議案書によりご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。